

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

肝細胞癌と肝内胆管癌の鑑別における超音波内視鏡下組織採取の有用性についての検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2016 年から 2024 年の間に、昭和医科大学藤が丘病院において肝腫瘍に対して超音波内視鏡下組織採取（EUS-TA）を施行され、最終診断が肝細胞癌（HCC）または肝内胆管癌（ICC）であった患者さんが対象となります。

2. 研究目的・方法

本研究は、肝臓の癌（肝細胞癌および肝内胆管癌）に対して行われる超音波内視鏡下組織採取（EUS-TA）という検査の診断精度を評価することを目的としています。これらのがんは治療方法が異なるため、正確に診断することが重要です。本研究では、当院でこれまでに同検査を受けられた患者さんの診療記録や検査で得られた検体の情報を用いて、診断の正確さや検査の有用性について解析を行います。なお、本研究は過去の診療情報を用いるものであり、新たに検査や治療を追加で行うことはありません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 12 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、患者さんの年齢や性別、肝臓のご病気の有無、血液検査の結果（腫瘍マーカー）などの基本的な情報に加え、腫瘍の大きさや数、位置、画像検査の所見について調べます。また、検査の方法（どこから針を入れたか、使用した針の種類や太さ、穿刺の回数など）についても確認します。これらの情報をもとに、検査の正確さや、採取された検体が診断に十分であったかどうか、および検査に伴う合併症の有無について検討します。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学藤が丘病院 氏名 高野 祐一

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院 消化器内科 氏名：高野 祐一

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：045-971-1151(内線 2167)